

日経産業新聞

2010年(平成22年)
6月22日
火曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

上曜・日曜・祝日休刊

■日本経済新聞電子版 <http://www.nikkei.com/>

■日経産業新聞online

<http://www.nikkei.com/tech/ssbiz/>

■購読のお申し込み ☎0120-21-4946

<http://www.nikkei4946.com>

発電効率10%向上

エス・ジー・ケイなど 放熱性高める素材

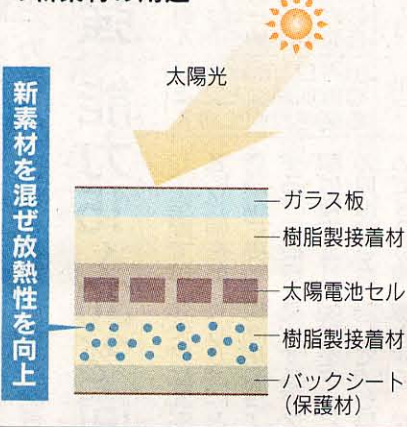
脂に混ぜると、接着材の熱伝導率を既存製品の10倍に引き上げることができるといふ。放熱性を高めることで太陽電池の温度上昇を抑える。

太陽電池は温度がセ氏1度上昇すると発電効率が0.45%低下するとされる。国内で使用する場合、太陽電池モジュールのガラス表面温度は最高でセ氏80度程度になるが、今回開発した新素材を用いれば、表面温度の上昇を最高でセ氏55度程度にまで抑えられる。この場合、発電効率は11%程度高まる計算という。

新素材を混ぜて作った接着材の価格は1平方センチ当たり250円程度にな

太陽電池

太陽電池の構造とエス・ジー・ケイの新素材の用途



浜口弘睦社長)は太陽電池の発電効率を高める新素材を開発した。バックシート(保護材)と発電素子(セル)を接着するための樹脂に混ぜると電池の温度上昇を抑制し、結晶型太陽電池に使えば発電効率を10%以上高められるという。

新エネルギー向け素材 鈴木恵礼宮・最高経営責任者)とウレタン製造のベンチャーのエス・ジー・ケイ(神奈川県平塚市、浜口ウレタン(浜松市、

酸化ケイ素に特殊な炭素素材を混合・焼成し、独自のセラミック素材を開発した。接着材となる樹